



神奈川県の率先実行の取組

県では、平成13年3月、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を本庁において取得し、その後出先機関等に順次認証範囲を拡大し、平成19年度には、警察まで拡大し全ての県機関が、認証範囲となっています。

ISO14001は、環境に配慮した取組を継続的に改善する仕組みになっていることが特徴です。

知事が定めた環境方針に基づき、目的・目標を定め、これらを達成するため、行動計画「環境マネジメントプログラム」(7つの個別プログラムで構成)を作成しており、このプログラムをもとに、日常活動や業務を環境に配慮しながら進め、その進捗状況を定期的に点検し、見直しています。

この仕組み(PDCAサイクル)に基づき毎年取組を進めることにより、継続的に日常活動や業務が改善され、環境に配慮した活動になっていきます。

ここでは、平成18年度における各プログラムの取組状況(進捗状況)を報告します。

グリーン購入の拡大と廃棄物の削減に向けた率先行動プログラム

このプログラムは、物品を購入して、事務事業活動を行い、廃棄物となって排出するという一連の流れの中で環境配慮を行い、グリーン購入、廃棄物の発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)を進めています。

表3-1 平成18年度目標と実績

取組項目	目標	実績
本庁の経常物品のグリーン購入率の向上		97.5%
出先機関等のグリーン購入率の向上	95.0%	98.7%
低公害車の購入率の維持(ただし、特殊車、特種車及び二輪車を除く)		100%
本庁の印刷物の再生紙利用率の向上		99.8%
出先機関等の印刷物の再生紙利用率の向上	100%	98.3%
本庁の廃棄物発生量の削減		645t
本庁のリサイクル率の向上	80.0%	91.6%
出先機関等の廃棄物発生量の削減		5,319t
出先機関等のリサイクル率の向上	47.0%	47.2%
本庁のコピー用紙使用量の削減		8,410万枚
出先機関等のコピー用紙使用量の削減		12,005万枚

印は維持管理項目(実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目)

図3-1 本庁の経常物品のグリーン購入率(%)の推移

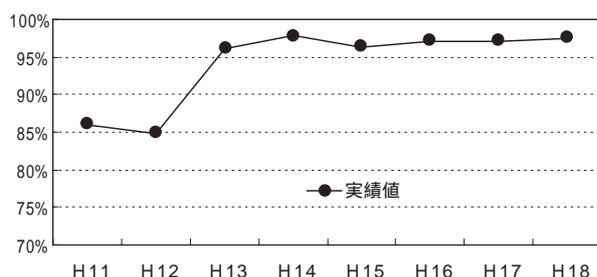


図3-2 出先機関等のグリーン購入率(%)の推移

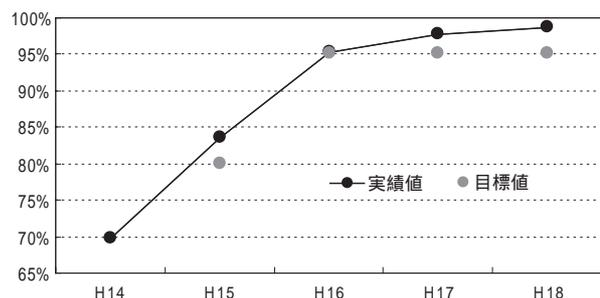


図3-3 本庁の廃棄物発生量(t)の推移

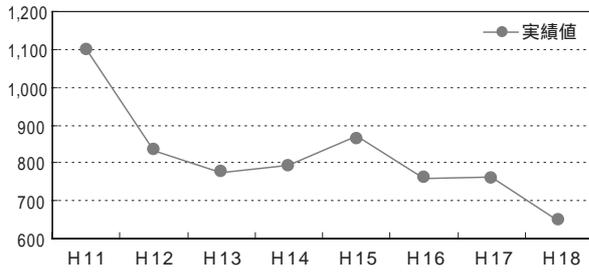


図3-4 出先機関等の廃棄物発生量(t)の推移

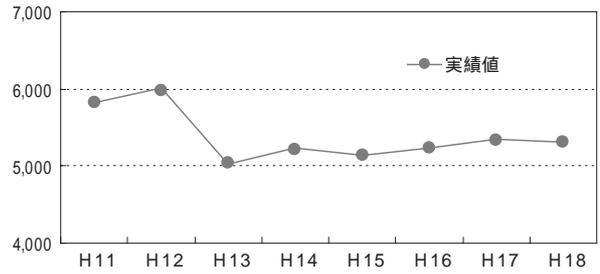


図3-5 本庁のリサイクル率(%)の推移

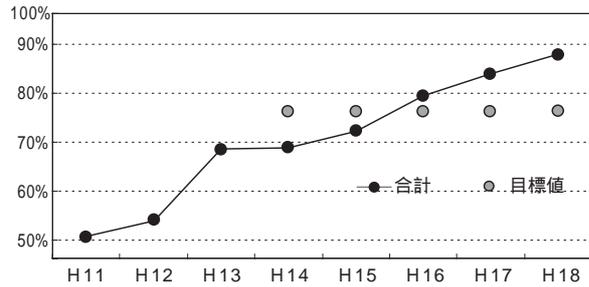


図3-6 出先機関等のリサイクル率(%)の推移

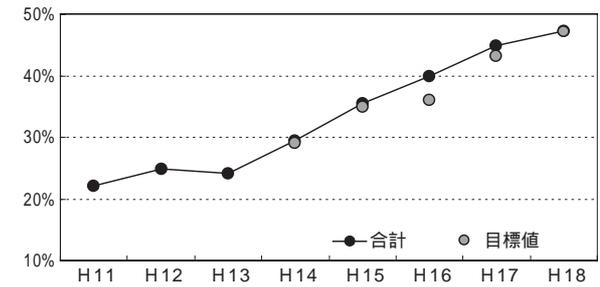


図3-7 本庁のコピー用紙使用量(枚数)の推移

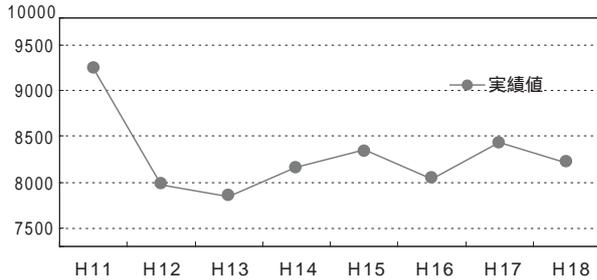
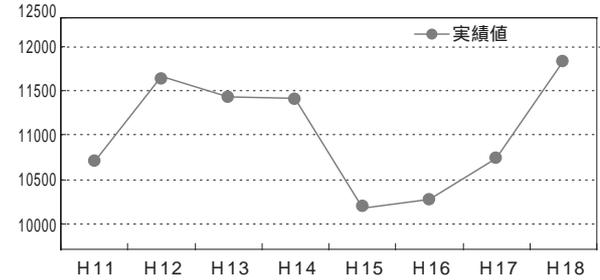


図3-8 出先機関等のコピー用紙使用量(枚数)の推移



地球温暖化防止に向けた率先行動プログラム

このプログラムは、温室効果ガス総排出量に大きく関与する、各庁舎のエネルギー使用量の削減、浄水場のエネルギー使用量の削減、道路照明への省エネルギー型の照明ランプの導入などを進めています。

表3-2 平成18年度目標と実績

取組項目	目標	実績
本庁の温室効果ガス排出量の削減	5,400t	5,280t
出先機関等の庁舎の温室効果ガス排出量の削減	78,600t	80,487t
寒川浄水場 送水量当たりの温室効果ガス排出量の削減	123t/百万m ³	121t/百万m ³
谷ヶ原浄水場 送水量当たりの温室効果ガス排出量の削減	111t/百万m ³	107t/百万m ³
道路照明1本当たりの温室効果ガス排出量の削減	367kg/年・本	361kg/年・本
本庁の水道使用量の削減		6.9万m ³
出先機関等の水道使用量の削減		234.7万m ³

印は維持管理項目(実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目)

図3-9 本庁の温室効果ガス排出量(t)の推移

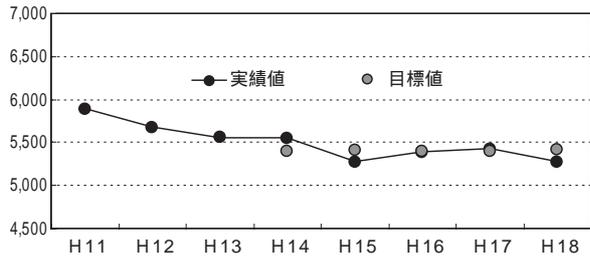


図3-10 出先機関等の庁舎の温室効果ガス排出量(t)の推移

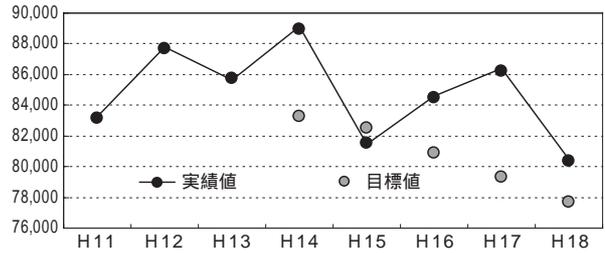


図3-11 本庁の水道使用量(万m³)の推移

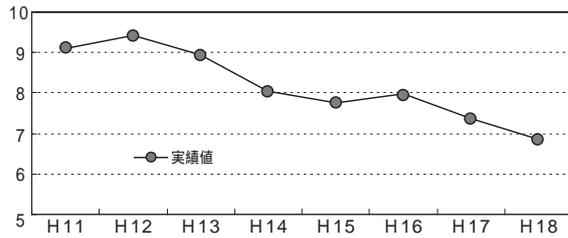
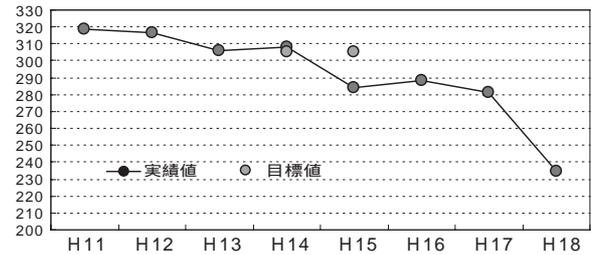


図3-12 出先機関等の庁舎の水道使用量(万m³)の推移



化学物質等の適正管理プログラム

このプログラムは、化学物質等による環境負荷を軽減するため、法律等で規制されている物質や機器などについて、法を遵守し、より環境負荷を軽減できるよう自主的な対応を進めています。

環境配慮型、環境創造型公共工事の推進プログラム

このプログラムは、公共工事の構想・計画段階、実施設計・積算段階、発注段階、工事段階、検査段階の各段階における環境配慮を進めるため、仕様書や現場説明書における環境配慮項目の拡大、工事の各段階におけるチェックリストの作成や見直し等を行い、環境配慮型、環境創造型工事を進めています。

また、グリーン資材調達の推進やリサイクル率の向上に努めており、主要な資材等については目標を定め実績把握を行っています。

表3-3 平成18年度目標と実績

取組項目	目標	実績
再生砕石の利用率の向上		80.9%
再生アスファルト合材の利用率の向上		60.8%
コンクリート塊のリサイクル率の向上		99.9%
アスファルト・コンクリート塊のリサイクル率の向上		99.9%
建設発生木材のリサイクル率の向上	95.0%	99.7%
環境創造型、環境配慮型公共工事の情報発信数(発信所属数)	60所属	43所属

印は維持管理項目(実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目)

環境基本計画

神奈川県の実環境分野における基本的な計画である環境基本計画に位置づけているプロジェクトを進めています。また、これらの進捗状況について、環境審議会や県民による点検に加え、内部監査・外部審査による点検などを実施し、より効果的に進めています。

環境に視点を おいた 本来業務の改善プログラム

このプログラムは、環境に視点を おいた 本来業務の改善に向けて、各所属一つ以上のプログラムを作成し、実施しています。

平成13年度からは、各所属の取組の中で良い事例を「クローズアップ優秀事例」としてISO14001の内部監査員が評価して公表しています。

18年度 クローズアップ優秀事例（抜粋）

平成13年度からアマモの種苗生産の研究を行うとともに、海域での実践を通じてアマモ場造成技術の研究に取り組んだ。現在まで水産技術センターが行った東京湾でのアマモ場造成面積は、他の事業主体の中で最大であり、また、東京湾唯一のアマモの生産拠点として国土交通省や他自治体からの種苗分与の要求にんでいる。また、当該センターのNPOとの協働による種苗生産、造成、調査のシステムは前例がないものであったが、その後の全国各地での造成事業に強い影響力を与えている。こういった実績により、水産技術センターはアマモ場再生事業の先駆者として全国的に高い評価を受けている。（水産技術センター）

「かながわ交通計画」における交通需要マネジメント施策のひとつとして、カーシェアリング（自動車の共同利用）の一層の普及を図るため、所属ホームページによりカーシェアリングの情報提供を行うとともに、17年11月に、国より「神奈川カーシェアリング利用推進特区」の認定を受けた。さらに、平成18年1月より、土木事務所において公務での「カーシェアリング」利用を開始し（相模原・厚木土木事務所利用開始、藤沢土木事務所は車両配置が整い次第開始）県自らが環境への取組姿勢をPRするとともに、先導的取組による利用者の拡大を図った。こうした構造改革特区の認定や県土木事務所における「カーシェアリング」の公務利用により、カーシェアリングが普及し、自動車使用に起因する環境への影響の低減を図ることが期待される。（都市計画課）

高等学校における環境教育の推進において、具体的な取組み事例を取り入れながら環境教育指導資料を改定し、当該資料において、県内の県立高校16校における実際の環境教育の取り組みを分類別に分かりやすく紹介することで、より実践的で利活用しやすい工夫が行われており、県立高校等に配付するとともに、高校生による環境シンポジウムを平成17年度に初めて開催するなど環境教育の推進に成果をあげた。（高校教育課）

旭高校の各運動部員・生徒会役員・一般生徒の約150名及び教職員、またPTA、地域の方々、市・区職員、NPOの方々約50名の協力をいただき、川井緑地の清掃活動「川井緑地クリーンアップ大作戦」を実施した。本事業は、本校とNPOとが主催して平成15年度から実施している環境保全活動で、開始以来、環境保全の大切さを生徒が身をもって体験する機会を得るとともに、周辺住民の協力により地域と一体となった環境保全活動に取り組むことにより、生徒の環境活動への前向きな意欲の醸成につながった。（旭高等学校）

環境保全及び創造に関する情報提供と教育及び学習の推進プログラム

このプログラムは、環境保全及び創造に関する情報提供と教育及び学習の推進のため、各所属において積極的に実施しています。

表3-4 平成18年度目標と実績

取組項目	目標	実績
マイアジェンダ登録学校数	1,300校	399校
ホームページ「かながわの環境」のアクセス数の向上	100万件/月	94万件/月



「環境マネジメントシステム」
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/iso/index.htm>